

2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月15日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東
 コード番号 3747 URL <http://www.itrade.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 一也
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 小笠原 功二 (TEL) 03-4540-3002
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (—)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	907	△1.9	△184	—	△183	—	△185	—
2018年9月期第2四半期	925	△8.3	△127	—	△127	—	△129	—

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 △185百万円(—%) 2018年9月期第2四半期 △129百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	△25.77	—
2018年9月期第2四半期	△18.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	1,188	877	73.8
2018年9月期	1,468	1,062	72.4

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 877百万円 2018年9月期 1,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,339	23.6	△170	—	△170	—	△175	△24.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期2Q	7,444,800株	2018年9月期	7,444,800株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	259,200株	2018年9月期	259,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期2Q	7,185,600株	2018年9月期2Q	7,185,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、取引所外取引システム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」及び機能性食材であるハナピラタケの健康食品や化粧品等の開発及び販売を行う「ヘルスケア事業」の3つです。

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期）の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	2018年9月期 (前第2四半期)		2019年9月期 (当第2四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	925	100.0	907	100.0	98.1
金融ソリューション事業	682	73.8	616	67.9	90.3
ビジネスソリューション事業	112	12.1	143	15.8	127.7
ヘルスケア事業	128	13.9	147	16.3	114.9
投資教育事業	2	0.2	—	—	—
営業損失(△)	△127	—	△184	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△129	—	△185	—	—

(注) 1. 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

2. 「投資教育事業」は2018年7月31日付で株式会社トレーデクスを株式譲渡したことから連結対象外となりました。これに伴い「投資教育事業」は当第1四半期より廃止しています。

当第2四半期の業績は、ビジネスソリューション事業及びヘルスケア事業においては増収となったものの、主力の金融ソリューション事業が減収となり、全体では前年同期に比べ17百万円減少し907百万円となりました。また損益面においても、売上高の減少や新規事業への先行投資の影響により営業損失は184百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は185百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社の事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 616百万円 (前年同期比 90.3%)

セグメント利益 9百万円 (前年同期比 6.7%)

なお、金融ソリューション事業の売上内訳は、次の表のとおりです。

<製品区分別>

	2018年9月期 (前第2四半期)		2019年9月期 (当第2四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
証券ディーリングシステム	440	64.5	407	66.1	92.5
取引所端末	136	20.0	130	21.1	95.5
外国為替証拠金システム	60	8.9	56	9.2	93.2
取引所関連システム	27	4.1	5	0.9	20.4
その他	17	2.5	16	2.7	97.1
合計	682	100.0	616	100.0	90.3

当第2四半期においては、取引所関連システムの顧客の解約による影響があり、売上高は前年同期に比べ9.7%減少し616百万円となりました。

また金融ソリューション事業では、来期以降の新ビジネスに向け、当社がこれまで培ってきた金融IT技術を活かし、長期的かつ継続的な利益の創出に向けて、主力プロダクトである『Spider』の機能拡張と付加価値向上のため研究開発に取り組んでいることから、セグメント利益は9百万円となりました。

(ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	143百万円 (前年同期比127.7%)
セグメント利益	15百万円 (前年同期は6百万円のセグメント損失)

経営戦略等の意思決定におけるデータマネジメントに有効なプロダクト「GroupMAN@IT e²」の新規受注や追加開発、企業のITにおける課題解決や品質向上を実現するサービスであるサポートセンター事業の伸長が貢献し、売上高は前年同期比127.7%の143百万円となりました。セグメント利益も15百万円となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社及び株式会社インタートレードヘルスケアの事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	147百万円 (前年同期比114.9%)
セグメント損失	65百万円 (前年同期は103百万円のセグメント損失)

医薬品卸大手の株式会社大木の専売品のサプリメント「エストロリッチ」をはじめとする当社が生産するサイレントエストロゲン活性を有する『ITはなびらたけ』関連の商品やOEM、原料販売が堅調に推移し、当第2四半期の売上高は前年同期比114.9%の147百万円となりました。

損益面においては『ITはなびらたけ』関連製品の販売拡大による売上総利益の増加や『ITはなびらたけ』の研究開発費が前年同期より減少した結果、セグメント損失は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産額（負債及び純資産の合計額）は、前連結会計年度末に比べ279百万円減少し、1,188百万円となりました。自己資本比率は73.8%、当座比率（当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標）は249.2%であり、安定性の高い財務体質となっています

（資産）

総資産合計1,188百万円のうち、現金及び預金が592百万円（構成比49.8%）を占めています。

その他の主な資産は、受取手形及び売掛金173百万円（構成比14.6%）、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）99百万円（構成比8.3%）、投資有価証券81百万円（構成比6.9%）となっています。

（負債）

負債合計311百万円のうち、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計が146百万円（負債合計に対する構成比47.0%）を占めています。

（純資産）

純資産合計877百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金794百万円、利益剰余金△1,300百万円、自己株式△95百万円等となっています。

（キャッシュフローの状況）

当第2四半期における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ239百万円減少し、592百万円となりました。

各活動におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは201百万円の支出（前年同期は80百万円の支出）となりました。

主な内訳は、税金等調整前四半期純損失183百万円、売上債権の減少額61百万円、仕入債務の減少額77百万円などです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、13百万円の支出（前年同期は17百万円の支出）となりました。

無形固定資産の取得による支出が6百万円、差入保証金の差入による支出が5百万円ありました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、24百万円の支出（前年同期は35百万円の支出）となりました。

長期借入金の返済による支出24百万円が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは金融市場の動向の影響を受ける事業環境にありますが、現時点では2018年9月期決算短信記載の連結業績予想で想定したとおりに進捗しており、連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	831,304	592,051
受取手形及び売掛金	234,837	173,364
商品及び製品	37,930	37,092
仕掛品	32,875	53,356
原材料及び貯蔵品	8,431	8,560
その他	63,239	62,227
流動資産合計	1,208,619	926,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,930	12,686
機械装置及び運搬具(純額)	910	796
工具、器具及び備品(純額)	26,083	21,558
有形固定資産合計	40,923	35,041
無形固定資産		
ソフトウェア	9,395	14,472
その他	1,247	1,247
無形固定資産合計	10,642	15,719
投資その他の資産		
投資有価証券	81,857	81,857
敷金及び保証金	118,899	124,680
その他	19,186	16,497
貸倒引当金	△11,851	△11,851
投資その他の資産合計	208,091	211,183
固定資産合計	259,658	261,944
資産合計	1,468,277	1,188,598

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,609	74,916
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	51,846	46,080
未払法人税等	7,915	9,111
受注損失引当金	3,000	5,000
その他	68,124	72,021
流動負債合計	383,494	307,129
固定負債		
長期借入金	19,040	200
退職給付に係る負債	2,982	3,706
固定負債合計	22,022	3,906
負債合計	405,516	311,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	794,264	794,264
利益剰余金	△1,115,143	△1,300,323
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	1,062,523	877,342
新株予約権	237	220
純資産合計	1,062,760	877,562
負債純資産合計	1,468,277	1,188,598

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
売上高	925,608	907,875
売上原価	644,694	572,935
売上総利益	280,914	334,940
販売費及び一般管理費	408,304	519,064
営業損失(△)	△127,390	△184,123
営業外収益		
受取利息	19	12
受取配当金	39	52
助成金収入	—	1,710
その他	881	162
営業外収益合計	939	1,938
営業外費用		
支払利息	1,082	706
その他	41	252
営業外費用合計	1,124	959
経常損失(△)	△127,574	△183,144
特別利益		
新株予約権戻入益	24	17
違約金収入	60	—
特別利益合計	84	17
税金等調整前四半期純損失(△)	△127,489	△183,127
法人税、住民税及び事業税	2,171	2,052
法人税等合計	2,171	2,052
四半期純損失(△)	△129,660	△185,180
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△129,660	△185,180

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純損失(△)	△129,660	△185,180
四半期包括利益	△129,660	△185,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△129,660	△185,180
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△127,489	△183,127
減価償却費	9,357	8,370
ソフトウェア償却費	3,032	1,795
その他の償却額	1,598	2,689
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△91	—
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	2,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	64	723
受取利息及び受取配当金	△58	△65
支払利息	1,082	706
新株予約権戻入益	△24	△17
売上債権の増減額(△は増加)	12,299	61,472
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,917	△19,772
その他の流動資産の増減額(△は増加)	5,213	1,008
仕入債務の増減額(△は減少)	4,992	△77,692
未払金の増減額(△は減少)	△2,607	△725
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	262	2,494
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,253	6,411
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,692	△3,707
小計	△105,725	△197,434
利息及び配当金の受取額	58	65
利息の支払額	△999	△666
法人税等の支払額	△1,511	△3,495
法人税等の還付額	27,871	144
営業活動によるキャッシュ・フロー	△80,305	△201,386
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,875	△606
無形固定資産の取得による支出	—	△6,873
長期前払費用の取得による支出	△221	—
差入保証金の差入による支出	△222	△5,780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,319	△13,260
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,400	—
長期借入金の返済による支出	△33,021	△24,606
リース債務の返済による支出	△676	—
配当金の支払額	△176	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,273	△24,606
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△132,899	△239,252
現金及び現金同等物の期首残高	1,177,588	831,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,044,689	592,051

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業	投資教育事業			
売上高							
外部顧客への売上高	682,675	112,294	128,512	2,126	925,608	—	925,608
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	1,250	64	—	1,314	△1,314	—
計	682,675	113,544	128,576	2,126	926,923	△1,314	925,608
セグメント利益又は損失 (△)	143,219	△6,778	△103,821	△18,368	14,250	△141,640	△127,390

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△141,640千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	616,781	143,430	147,663	907,875	—	907,875
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	255	255	△255	—
計	616,781	143,430	147,919	908,131	△255	907,875
セグメント利益又は損失 (△)	9,606	15,084	△65,127	△40,436	△143,687	△184,123

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△143,687千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「投資教育事業」を行っていた子会社の株式会社トレーデクスは2018年7月31日付で株式譲渡したため、これに伴い「投資教育事業」は第1四半期連結会計期間より廃止しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。